

平成 29 年 1 月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

新年のごあいさつ



施設長
石橋 久夫

新年明けましておめでとうございます。平成 29 年の新年を迎えるにあたって、老健いこいのご利用者や地域の皆様方のご多幸を心より祈念いたします。



おたや祭山車 上宿第 1 場
鶴の恩返しの場

老健いこいを支える3本の柱

経済成長とそれに伴う財政再建をテーマに掲げたアベノミクスでしたが、平成 29 年度の予算は過去最大規模の 97 兆円を超える大盤振る舞いではあるものの、現実の税収入は経済の失速に伴い大幅に減少しています。まさに日本の将来の危うさを感じます。そして、消費税増税の先送りに伴い、社会保障費の伸びは低く抑えられています。今後は診療報酬、介護報酬も大幅なマイナス改定が予測され、病院や施設の経営は、大変厳しくなっていくと思われれます。そういった状況の中で、老健いこいの取り組みについて、地域の皆様にお伝えしたいと思います。

一 老健いこいの基本方針の一本目の柱は、『理念をしっかりと守り抜く』ことです。

地域の高齢化社会において、お年寄りやその家族が安心して暮らせる体制作り、これを国は「地域包括ケアシステム」と呼んでいます。当地域におけるこのケアシステムの拠点は、70 人の入所と 40 人の通所を担当している、老健いこいであり、それだけにその責任は重大です。

心身の弱ったお年寄りを、少しでも元気にして家に帰っていただく「在宅復帰」と、家に戻ったあと、安定して在宅生活を継続していただけるよう、ショートステイや通所リハビリ(デイケア)を提供し、「在宅支援」すること、この2つが、老健いこいの理念であり、地域に対する使命です。

現在老健いこいは、在宅復帰率 50% 超という厳しい条件をクリアし、「在宅強化型老健」として認可を受け、着実にその使命を果たしています。

また、本年 4 月から、通所リハビリ機能の役割を明確にするため、通所リハビリ(デイケア)という名称を、「通所リハビリセンター」に改名いたします。キャッチフレーズは「元気で長生き！」です。理学療法士と作業療法士 7 名体制による十分なリハビリの提供と、パワーリハビリ(トレーニンングマシン)によるリハビリ(トレーニンングマシン)を取り揃えます。リ)など豊富なメニューを取り揃えます。要支援を含めた介護認定を受けている方は誰でも利用できます。送迎も行いますので積極的にご利用いただきたいと思います。

二 二本目の柱は、『職員満足』です。

施設で働く職員の満足なくしては、とても地域に貢献することはできません。

そして、その根幹にあるのが、「和の精神」です。聖徳太子の十七条の憲法の第一条が、「和を以て貴しと為す」で、日本の代表的な伝統精神です。職員相互の優しさと配慮によって、しっかりとした信頼関係を作り、ストレスの少ない、やりがいをもって意欲的に働ける職場づくりを大切にしています。

三 三本目の柱が、『利用者満足』です。

年若い心身の機能が低下し、自分の力で、自らの尊厳を保てなくなった時、心は沈み、生きる意欲が弱まります。そんな状況にあっても、老健いこいでは、一人ひとりのお年寄りに、心のこもった全人的ケアや全人的リハビリによって、自分のいのちが大切にされていることを実感していただけます。その支えの中で、生きる意欲を再び取り戻し、利用者の皆様に満足していただけることを、職員全員が切に願っています。そして、それが在宅復帰につながっていくことが、老健いこいの理想の姿です。



理学・作業療法士によるリハビリ

通所リハビリにおけるリハビリの様子



映像ソフトを利用した体操

いこいでのリハビリに魅力を感じています

作業療法士 山ノ内敏行



私は作業療法士として、いこいで平成 28 年度から働いております。それまでは病院で働いており、介護保険の下での仕事はいこいが始めてとなります。私がいこいで働き始めてすぐに感じたのは生活リハビリを重要だと重んじて、それを実行している施設だと思いました。

私達が個別リハビリとして利用者様に関わることのできる時間は制度上限られており、その時間だけでは充分と言えません。しかしいこいでは、リハビリ職員だけでなく、看介護職員もリハビリへの意識が強く根付いているため、普段の生活動作からリハビリになるように取り組んでいます。そのようなリハビリへの共通認識があるため看介護職員とリハビリ職員との連携がスムーズで仕事がしやすいと感じています。

いこいでのリハビリの役割は、在宅復帰と在宅生活を支援する事です。住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、施設で生活されていても、ご自宅に戻られたことを想定しながらリハビリを行なっています。個別リハビリを主に実施していますが、利用者様本人の状態の変化だけでは、自宅での生活が思うようにできないことがあります。そのためリハビリ職員が入退所時にご家庭に訪問をしたり、利用者様は元よりご家族様のお話もしっかり聞くように努めております。必要時には介護サービスや福祉用具の導入・使用方法等のアドバイスもさせていただいております。

また、リハビリは一般入所のリハビリに留まらず、通所リハビリ、短期入所リハビリ、訪問リハビリと多岐に渡って関わっております。関わった利用者様とご家族様から感謝の言葉をいただいた時に、この仕事をやって良かったと、心からうれしく思います。

いこいを利用していただいた皆様が、住み慣れた地域で充実した老いを過ごせるよう、いこいの職員一丸となって支援させていただきますので、これからもよろしくお願いたします。



長門小学校2年生交流会

11月22日に今年2回目となる長門小学校2年生との交流会が行われました。

運動会で発表したダンスの披露や、ご利用者と一緒にご玉入れゲームで盛り上がりました。最後に子供たちからの握手で、たくさんの元気をいただきました。



依田窪南部中学校1年生交流会

11月10日に、依田窪南部中学校1年生との交流会が行われました。

始めに、文化祭で歌った合唱を披露いただきました。その後、グループに分かれて、ご利用者と塗り絵や折り紙・風船バレーなどで楽しい交流会となりました。

(平成28年10月～12月までの出来事)



★ 編集後記 ★
 新年明けましておめでとうございませう。
 いこいの年間入所率の最高は、平成19年度の96.1%でした。昨年は4月から多くの皆様にご利用いただき、年末までの平均が97%を超えております。1月から3月までも満床状態ですので、今年度は過去最高の入所率となりそうです。本年も老健いこいの理念に沿ったサービスを提供してまいりますので、よろしくお願申し上げます。
 (編集委員)



忘年会(通所：12月15・16日、入所：12月22日)

今年の忘年会には、入所・通所部門両方にハーモニカボランティアの皆様にご足労をいただきました。通所では長久保の渡辺久人様にご披露いただき、忘年会を盛り上げていただきありがとうございました。